

デジタル時代の子どもとインターネット

デジタル・シティズンシップ教育

問い合わせ先

学校政策課 28-6136

情報モラル教育から 新たな教育への転換

子どもたちがこれからのデジタル社会を生きていくために、学校の内外を問わず、情報活用能力を身に付ける必要がある、本市では、小・中学校の児童・生徒に一人1台のパソコンを整備し、ICT教育を積極的に推進しています。

これまでの学校では、スマホやインターネット利用の考え方や態度を学ぶ「情報モラル教育」をしてきました。

しかし、使用を制限することで危機を回避する抑制的な情報モラル教

育は、例えるなら、危険だからという理由で包丁や火を使わせないことと同じです。

正しい使い方を理解したうえで、包丁や火を使うことができるように、これからのデジタル社会を生き抜く子どもたちには、あらゆる情報活用能力を身に付けるための教育が必要です。

デジタル・シティズンシップ教育という考え

そこで本市では、現代社会はインターネット利用を抜きには成り立たないことを前提に、子どもたちの安全を確保しつつ、パソコンやスマホの善き使い手として、社会に役立つために必要な能力やスキル（技術）を身に付け、問題が起きた時の解決方法を考える力や実践力を養おうという新しい考え方の「デジタル・シティズンシップ教育」へ転換していきます。

情報モラル教育の ネクスト・ステージ

本市では、子どもたちの自主性を育むために各学級に「ICT係」を創設し、子どもたち自らデジタル機器やインターネットの適切な関わりを考える取り組みをしています。

また、新しい教育を実践するため、

8月にデジタル・シティズンシップ教育の第一人者である今度珠美氏（国際大学）を招き、研修を実施するなど、教職員のスキルアップにも努めています。

さらに、今年11月には同氏による最先端の授業を小・中学校で実施し、全国に先駆け、本格的に取り組んでいきます。

新しい学びのスタート

子どもたちが必要な能力を身に付けるためには、子どもたちが一日を過ごす「学校」と「家庭」や「地域」が足並みを揃えて新しい教育方針を理解していくことが必要です。

保護者の方を含め、市民の皆さまと一緒に、新しいデジタル・シティズンシップ教育を始めていきたいと思います。



学校の先生も「デジタル・シティズンシップ教育」の考え方や具体的な指導方法を研修し、子どもや家庭、地域へ還元するとしています